



「ご夫婦は畳の上で食卓を囲む「座の暮らし」を望みました。くつろぎのリビングは、フロアリングの内側に段差のない和紙畳を敷き詰め、その中心に掘りこたつを据えました。畳に腰を下ろせば、化粧梁で装飾された勾配天井の高さが強調されて、さらなる開放感が得られ、同時に対面キッチンとのさり気ないゾーニング効果も生まれます。

「リビングの窓はできるだけ大きくしたくて」(ご主人)と、気密・断熱性能も意識して、トリプルガラスの樹脂サッシを採用しました。畳の色と調和する、テレビ背面の優しいグリーンのアクセントウォールは、奥様のお見立て。日の当たるこの明るくナチュラルな空間を「キッチンから眺めるのが好きです」(奥様)。

## 座の暮らしを楽しむ。 畳リビングのある平屋



1. バイオリンを弾くご主人のための書斎には、防音仕様のドアを採用。「暮らしに影響のないように間取りにも配慮しました」(ご主人)。2. ピクチャーウィンドーに明るく照らされた、ゆとりある2ウェイ仕様の玄関ホール。3. レースカーテン越しに優しい光が巡るLDK。掘りこたつに縁無し畳を敷き詰めた、床座のライフスタイルを希望した。4. 白い外壁に茶色の玄関ポーチが強調された平屋のY邸。屋根全面に太陽光パネルを搭載した。5. リビング側に収納機能のある造作カウンターを立ち上げて、キッチンをほどよく目隠し。6. 「布団で寝たいので畳にしました」(奥様)。い草畳と珪藻土の壁、網代を模した天井に心安らく寝室。7. 室内物干し場のある洗面・洗濯・脱衣室は、家事効率を考慮してキッチンの裏側に集約した。



設備・性能  
ハイスペック住宅

My Favorite House

No. 00

守屋建設 株式会社

太田市 Y邸

### DATA

家族構成：夫婦+子ども1人 竣工：2018年8月  
 構造：テクノストラクチャー工法  
 延床面積：112.37㎡(33.99坪) 1F 112.37㎡(33.99坪)  
 設計・施工：守屋建設 株式会社  
 ※建築主様のご要望により平面図は省きます。

この家を建てた企業の情報は P000~